

埼玉県立文書館 出前授業 学習指導案

学校・学年	●●小学校 ●学年（1組●人、2組●人、3組●人）		
日時・場所	●年●月●日（●）・各教室 ●校時（●：●～●：●） ●校時（●：●～●：●） ●校時（●：●～●：●）		
学習名	埼玉県の地形		
活用資料等	埼玉県立体地図、地図帳、副読本		
学習のめあて	埼玉県は、どのような地形をしているのでしょうか。		
評価規準	埼玉県全体の地形について、地図帳や立体地図などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の地形（山地、平野、河川等）の位置や広がりを理解している。【知技】		
時間	学習活動■、学習内容・、主な発問「」等	留意点、評価【】、等	資料等
導入【2分】	■文書館紹介 「文書館はどのような仕事をしているの？どこにあるの？」 ・記録（文書、手紙、絵、写真、地図等）を大切に保管し、調べにくる人にその記録を見せたり研究に役立つ本などを出したり、記録を使った授業をしたりする仕事をしています。 ・文書館はさいたま市（県庁の隣）にあります。		
はじめ①【3分】	■埼玉県の衛星写真や地図帳を見て、気づいたことを話し合う。 『西側に緑が多い。（衛星写真）』 『川が流れている。（地図帳）』 など	・衛星写真や地図帳ともに山地部分が注目しやすい。	副読本 地図帳 衛星写真
はじめ②【5分】	■本時の課題を確認 「埼玉県は、どのような地形をしているのでしょうか。」 [予想]『緑が多いところは山が多い。』など	・生活経験（学校から見える景色や坂道、橋、山登りなど）を想起させるとともに、行ったことのない地域はどのようにになっているのか想像させる。	
なか①【10分】	■埼玉県内のどこにどのような地形がひろがっているのか立体地図で調べる。 ・県の西側は山地、丘陵などの高い土地。 ・東側は台地、低地などの平らで低い土地。 ・高い山に囲まれた平らな土地（秩父盆地）。	・立体地図を目の高さで見たり、手のひらで立体地図を触ったりすることで、地形の高低差を捉えることができるようにする。 ・県の方位を確認し、位置（東西）によって地形の様子の違いを捉えられるようにする。	立体地図
なか②【10分】	■埼玉県内のどこにどのような河川が流れているのか立体地図や地図帳、副読本で調べる。 「利根川、江戸川、荒川を指でなぞろう。」 ・県境を流れる川 ・埼玉県の中央部を流れる川 「その他にどのような川が流れていますか。」 ・中川、古利根川、元荒川、入間川など ・多くの川が県内を流れている。 「川はどこへ流れていきますか。」 ・利根川は、太平洋へ。 ・その他の川は、東京湾へ。 ・埼玉県は海に接していない。	・河川の流路に沿ってなぞるようにする。 ・埼玉県は、県土に占める河川面積が3.9%と日本一。川の国。 ・河川が県のどの位置を流れているのか捉えられるようにする。	立体地図 地図帳 副読本
おわり【15分】	■埼玉県の地形についてまとめをする。 「今日の学習で分かったことを、ノートに書きましょう。」	・学習内容のまとめをする。 評【知技】＜ノート・発言＞ ・立体地図とワークシートが対応	ワークシート
	■まとめ（例） 埼玉県の地形は、西が高く東が低い。秩父には盆地があり、東側は平地が広がっている。埼玉県の北を利根川が、東を江戸川が、中央部を荒川が流れている。埼玉県は多くの川が県内を流れる。海には接していない。		
	「埼玉県のそれぞれの地形では、どのような土地の利用がされていると思いますか。」	・土地利用への興味関心を高める。	

★評価規準 <方法> ⇒努力を要する状況への手立て

評	<p>埼玉県全体の地形について、地図帳や立体地図などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、県の地形（山地、平野、河川等）の位置や広がりを理解している。 【知技】&lt;ノート・発言&gt;</p> <p>⇒ まとめを書くことができない児童には、以下のような支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を参考にするように伝える。</li> <li>・個別指導で、立体地図の様子を観察させたり、手のひらで触らせたりすることで地形の様子を想起させる。利根川や荒川などの代表的な河川を指でなぞらせることで、理解できるようにする。</li> </ul>
---	--

★板書計画

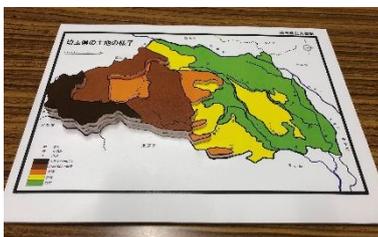
<p>埼玉県は、どのような地形をしているのでしょうか。</p> <p>埼玉県の土地の様子</p>		
<p>【地形】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西は高い（山地、丘陵）</li> <li>・東は低くて平ら（台地、低地）</li> <li>・秩父盆地（山にかこまれた平地）</li> <li>・海に接していない</li> </ul>	<p>【主な川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利根川</li> <li>江戸川</li> <li>荒川</li> </ul>	<p>まとめ（例）</p> <p>埼玉県の地形は、西が高くて東が低い。秩父には盆地があり、東側は平地が広がっている。埼玉県の北を利根川が、東を江戸川が、中央部を荒川が流れている。埼玉県は多くの川が県内を流れる。海には接していない。</p>

★準備物

児童の準備物	学校の準備物	文書館の準備物
副読本、地図帳、ノート、筆記用具	特になし	立体地図（児童数） ワークシート（埼玉県の土地の様子） 文書館の建物の写真

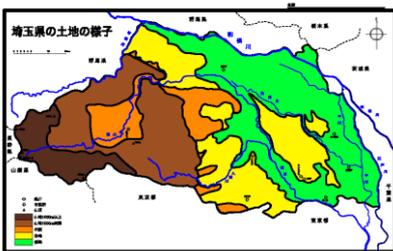
★資料紹介

1 立体地図（埼玉県）



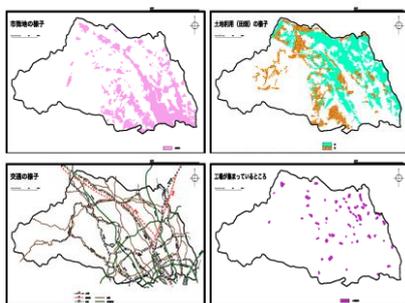
スチレンボード（のり付きパネル）で製作。41セット。授業で児童一人一人に配布し、授業後に回収する。  
西側が高く、東側が低くて平らな地形や秩父盆地の様子を体験的に学習できる。  
※元のデータは、文書館のホームページ（学校連携→授業サポート）で公開している。

2 ワークシート（埼玉県の土地の様子）



立体地図を紙に印刷したもの。立体地図で学習した地形の様子を平面で捉えなおす。次時以降の学習では、ワークシートの大きさに合わせた学習シートを重ねることで、地形との関係を学ぶことができる。  
※元のデータは、文書館のホームページ（学校連携→授業サポート）で公開している。

3 学習シート



ワークシート（埼玉県の土地の様子）と同じサイズで作成されている。土地利用（市街地、市町村の人口、田畑、工業団地）や交通（鉄道、高速道路、国道）、主な農作物のシートデータを、トレーシングペーパーにカラーレーザープリンターで印刷したもの。ワークシート（埼玉県の土地の様子）の上に学習シートを重ねることで、地形との関係を学ぶことができる。学習シート同士を重ねることで、様々な関係を考えることができる。  
※元のデータは、文書館のホームページ（学校連携→授業サポート）で公開している。